

## 令和元年度第2回いはらっこの子育て支援会議議事録

開催日時：令和元年11月22日(金)午前9時30分～

開催場所：市原市消防局 2階講堂

出席委員：深谷委員、小林委員、宮田委員、齋藤利光委員、泉水委員、齋藤雅宏委員、長谷川委員、須磨委員、高橋委員、千葉委員、増井委員、松山委員、岡本委員（13名出席）

事務局：子ども未来部：三澤部長、綿引次長  
子ども福祉課：池田課長、牧野主幹（司会）、高澤係長、真田副主査、植草主事、見山研究員  
保育課：秋葉課長、三橋補佐、高橋係長、浅香係長、保坂係長、小櫛係長  
子育てネウボラセンター：安藤所長、安藤係長  
発達支援センター：小宮所長

傍聴者：（なし）

### 議題

- (1) 新市原市次世代育成支援行動計画（前期計画）の実績及び評価について
- (2) 市原市子ども・子育て支援事業計画（改定版）の実績及び評価について
- (3) 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込み等について

会議経過

【配布資料】

<p>(事前配布資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議次第</li> <li>・ 資料 1 - 1 : 新市原市次世代育成支援行動計画 (前期計画) の実績及び評価 (平成 30 年度)</li> <li>・ 資料 1 - 2 : 実績等一覧表</li> <li>・ 資料 1 - 3 : 指標の状況について</li> </ul> <p>(当日配布資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料 2 - 1 : 市原市子ども・子育て支援事業計画の実績及び評価 (平成 30 年度)</li> <li>・ 資料 2 - 2 : 教育・保育における量の見込み及び確保方策の状況 (市域全体・地区別)</li> <li>・ 資料 2 - 3 : 法定 1 3 事業の状況</li> <li>・ 資料 3 - 1 : 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込み等について</li> <li>・ 資料 3 - 2 : 教育・保育の量の見込み等 (区域別)</li> <li>・ 席次表</li> <li>・ いちはらっこの子育て支援会議 委員名簿</li> </ul>	
--	--

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委嘱状交付式</li> <li>・ 開会宣言</li> <li>・ 資料確認</li> <li>・ 会議の位置づけ説明</li> <li>・ 会長・副会長選任</li> </ul>
会長	<p>これより、議事を開始させていただきますが、その前に、本日の会議に係る議事録の確定について、議事録署名人の指名を行います。</p> <p>宮田委員と齊藤雅宏委員を指名します。</p> <p>よろしく願いいたします。</p> <p>本日は傍聴人がおりませんので、これから会議を開始いたします。</p> <p>本会議は 3 議題となっております。委員の皆様におかれましては円滑な進行にご協力賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>それでは、議題の 1 点目、「新市原市次世代育成支援行動計画 (前期計画) の実績及び評価について」でございます。</p> <p>事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	資料 1 - 1 から、資料 1 - 3 に基づく説明。

(子ども福祉課 担当)	
会長	いま、実績・評価について説明がありました。 皆様から、ご質問・ご意見がございましたらお願いいたします。
委員	<p>資料1-3を拝見させていただきまして、まず初めに計画全体部分の指標、「自分には、よいところがあると思う児童(小学生)、生徒(中学生)の割合」が平成30年度と比べて令和元年度が減少しているということでした。この部分に関しては、子どもたち自身が自己肯定感の部分で、より褒められる機会であるとか、自分で選択をする機会、認められる機会・経験として、大人たちにしっかりと自分の話を聞いてもらえる機会や場の提供をより増やしてほしいと思います。また、自己肯定感が育まれた故郷(ふるさと)というのは、将来・生涯にわたってその子供たちの生活の拠点とする選択肢として大きな位置づけになるかと思っておりますので、先々の人口流出にも影響を与えるのではないかと思います。</p> <p>また、指標「幼児教育や保育が充実していると思う人の割合」、「地域における子育て支援が充実していると思う人の割合」、「幼稚園または保育所から小学校生活へ円滑な移行ができたと思う人の割合」については、令和元年度の数値が、平成30年度よりも上昇しているということで、評価したいと思っております。ただし、これらの数値は大人目線の評価ということもありますので、子ども目線の評価充実というの忘れてはいけない部分だと思っております。</p> <p>ハード部分の着実な施策の進行というのは、資料からも感じられますが、ソフト面に関してもいろいろなケアが必要だと思っております。そのために、各種団体と、担当課による密接連携、ヒアリングを含めたより多くの意見交換などを求めていきたいと思っております。</p>
会長	ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。
	(その他の意見なし)
会長	それでは、「新市原市次世代育成支援行動計画(前期計画)の実績及び評価について」は終了いたします。
	(休憩)
会長	それでは、議題の2点目、「市原市子ども・子育て支援事業計画(改訂版)の実績及び評価について」でございます。

	事務局から説明をお願いいたします。
事務局 (子ども福祉課 担当)	資料2-1から資料2-3に基づく説明。
会長	皆様からのご意見・ご質問はいかがでしょうか。
委員	<p>(資料2-1「指標の状況」について) アンケート調査の基準値の設定の根拠、どうして平成27年度と平成28年度が基準になったのか伺います。</p> <p>過去3年間の平均等ではなく、ある年を基準とすると、その年のアンケート結果が良かった場合、計画の評価が厳しくなるかなと思いました。</p>
事務局 (子ども福祉課 担当)	<p>お答えいたします。</p> <p>本計画の指標は、先ほど説明いたしました、次世代育成支援行動計画のなかで指標の基準値として位置づけられているもので、計画策定時における最新の数値を基準値としています。表中の平成28年度と表記がある部分の基準値の2つ左側に「調査」という欄で○がついている部分があります。これはアンケート調査によるものになります。このアンケート調査は次世代育成支援行動計画の策定に際して、指標が必要ということで、新たに平成28年度から調査を開始しております。従いまして、過去の実績を平均するといったような対応ができずに設定したというものになります。</p>
会長	いかがですか。
委員	<p>わかりました。</p> <p>ありがとうございました。</p>
委員	<p>待機児童対策について、保育所の新規開設を実施してきたにも関わらず、待機児童数が増加傾向にあるということですが、資料2-1の3ページのところで、「姉崎、市原、五井、辰巳台、ちはら台の定員不足が顕著な状況です」というなかで、この地域を想像してみると、就労場所のある地域で待機児童が発生しているのではないかと思います。</p> <p>そうすると、千葉の縮図である市原の将来を考えた時に、過疎や、まちづくりの視点を踏まえると、この先々、姉崎、市原、五井、辰巳台、ちはら台へ保育施設を整備していくと、一部の地域にばかり雇用や人口が集中していってしまうのではないかと、強く懸念されます。</p>

	<p>その部分に関して、行政が主導して努力していく必要があると思いますので、様々な部署による包括的な取り組みが必要になってくるのではないかと思います。</p>
<p>事務局 (子ども福祉課 担当)</p>	<p>どのような地区に、どういった施設を整備していくかということについては、この後、次期計画策定の中で、保育ニーズに対する、効率的・効果的な施設整備や、誘導というものを検討していきます。</p>
<p>委員</p>	<p>資料2-3の2ページの一時預かり事業の幼稚園在園児対象型でニーズが出ている状況がわかります。友人が就労するにあたり、「勤めるということ＝保育園」というように思っていたこともあり、保育園の情報しか見ていなかったのですが、子どもが小学校に入学するまでの過程で、実は幼稚園でも一時預かりをしてくれる施設が多く、預かり時間も充実しているということを知って、「幼稚園」という選択もあったのかもしれない、知っていればそうしたかったという声を聞きました。</p> <p>保育園の充実も大事ですが、幼稚園のこうした事業も広く周知されれば、待機児童数の減少につながるのではないかと思います。</p> <p>また、一時預かり（幼稚園在園児対象型）を実施する際の市から幼稚園への補助制度について教えてください。</p> <p>最後に、「実績（30年度）」のところで、「情報シート」により利用時間等の案内を行いましたとありますが、この案内はどのような方法でなされているのかお伺いできればと思います。</p>

<p>事務局 (子ども福祉課 担当)</p>	<p>一点目、資料2-3の2ページの一時預かり事業(幼稚園在園児対象型)についてですが、委員のおっしゃるように、ニーズが大変増えている状況でございます。さらに今年の10月から、幼児教育・保育の無償化が行われ、2号認定に相当する、一定程度の就労をしている方が幼稚園利用に加えて預かり保育を利用する場合、預かり保育についても無償化の対象になります。そうしたトレンドを受けまして、今後もニーズが増えていくということは考えられますので、その点は次の議題において説明させていただきます。</p> <p>二点目、この制度についての市からの補助制度というものは、現時点ではございません。先進市の事例を挙げさせていただくと、松戸市などでは、県の助成に上乗せをするというような取組をしています。そうしたものを、「すぐにやれます」という状況にはありませんが、研究・検討させていただければと考えています。</p> <p>三点目、「情報シート」についてですが、保育課窓口での保育コーディネーターなどによる説明において活用しております。その窓口において、市民への説明用に、各保育施設で作成した利用案内をまとめたファイルを設置しております。</p>
<p>委員</p>	<p>放課後児童健全育成事業ということで、法定13事業の状況をまとめていただいております(資料2-3の3ページ)。平成30年度に4校(姉崎小、若葉小、国分寺台西小、国分寺台小)を増設していただいたということで、ありがとうございます。</p> <p>ただ、確保方策の部分で、「利用申請の多い児童クラブについては、定員を超えて受け入れている状況です」とあります。これはやむを得ないことかもしれませんが、放課後児童健全育成事業の質として、子どもの人数が多くなる中で、適切な育成が行われているのかということが懸念されます。</p>
<p>事務局 (子ども福祉課 担当)</p>	<p>「定員を超えて受け入れている状況です」とありますが、際限なく受け入れているというわけではなく、一つの基準として、定員の1.2倍程度を限度として受け入れさせていただいているという状況です。</p> <p>質の部分については、入所している児童の数が一定数を超えるごとに職員を加配するという対応を取っておりますので、ある程度の質は担保されているかと思えます。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。 他にご質問、ご意見ございませんか。</p>

	(その他の意見なし)
会長	<p>それでは、「市原市子ども・子育て支援事業計画（改訂版）の実績及び評価について」の質疑については終了させていただきます。</p> <p>最後に、「教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込み等について」に移ります。</p> <p>事務局より説明お願いいたします。</p>
事務局 (子ども福祉課 担当)	資料３－１、資料３－２に基づく説明。
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>皆様からご質問、ご意見を頂きたいと思えます。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
委員	<p>(資料３－１の) 12 ページの子育て短期支援事業というところで、「その他」欄で「夜間等における保護を行う「夜間養護等（トワイライトステイ）事業」については、ニーズ調査の結果（該当の回答なし）から、「ニーズなし」としました。」というように書かれていますが、ニーズ調査では（ニーズが）無くても、実際はこうしたニーズは想定されるのではないかと思います、いかがでしょうか。</p>
事務局 (子ども福祉課 担当)	<p>トワイライトステイについてですが、ショートステイの利用希望の相談を受けることはありますが、トワイライトステイについては相談がほぼないという状況です。他市においても、ショートステイのみ実施しているところが多い状況です。まずは、ニーズの高いショートステイ事業について実施し、トワイライトステイについては、逐次ニーズの状況を注視しながら対応していきたいと考えております。</p>
委員	<p>現在の状況としては、他市町村もトワイライトステイ事業の実施は見合わせるというような状況なのでしょうか。</p>
事務局 (子ども福祉課 担当)	<p>ショートステイとトワイライトステイの両方を実施している市もありますが、ショートステイのみの実施という市が多いです。</p> <p>市原市としては現在どちらも実施していないという状況ですので、まずは、ショートステイについて早い段階で実施できるよう検討している状況です。</p>

委員	資料3-1の9ページ、「教育・保育の確保方策（方向性）」というところで、（資料3-2の）いろいろな数値を見ていると、1号のところはずいぶん枠が空いています。「主な確保策」のところで、「既存施設の定員の組み替え（1・2歳定員の増）」ということになっていますが、既存施設の定員の組み替えを行うことによって、どの程度、定員枠を拡げられるのか、ある程度数値は出ていますか。
事務局 （子ども福祉課 担当）	どの程度の増が可能かというところまでは算出できていませんが、施設のなかで具体的に数十名の定員増を予定しているというような相談を受けていたりもしますので、そのあたりも協議をさせていただいて、可能な限り、令和2年4月に実施していただけるようお願いしているところです。
委員	ありがとうございました。 待機児童対策は喫緊の課題であると思いますので、第一に考えなければならないのはスピード感、そして、なるべくお金がかからない方法でということを優先順位としていくと良いかと思います。
会長	ありがとうございました。 他に、ございませんでしょうか。
	（その他の意見なし）
会長	それでは、他にご質問、ご意見が無いようですので、「教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込み等について」質疑を終了いたします。 本日の議事は以上ですが、これまでの議事以外で、委員の皆様から、ご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。



委員	<p>私には3歳になる子どもがおりまして、来年から幼稚園ということになりますが、母親、親世代からの立場で言わせていただきますと、これだけ市では素晴らしい事業を一つ一つ一生懸命取り組まれているようですが、私ども市民にはなかなかその内容が届いていないように感じます。これは、子どもに関わる部署だけでなく、広報の部分にも関係することかと思いますが、市のホームページも拝見させていただきましたが、幼稚園の決め方、入り方、手続きの方法、それから今回、無償化の手続きの方法、就労家庭における点数の申請書など、そういったものを非常に理解するのが難しい。私もいろいろと質問を受けておりますが、是非とも、もう少し解り易い、誰にでもわかる言葉で、図なども出していただきながら、また事業のこともSNS等で皆様に見ていただけるように取り組んでいただけると良いのではないかと思います。</p> <p>どうぞ、よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>貴重なご意見、ありがとうございます。 他に意見はございますか。</p>
	<p>(その他の意見なし)</p>
会長	<p>それでは、他に無いようですので、以上をもちまして本日の全ての議事を終了いたします。 ご協力ありがとうございました。</p>
事務局	<p>長時間に渡りましてご審議を頂きまして誠にありがとうございました。本日いただきましたご意見を十分に踏まえまして、今後の計画等の事業を推進してまいりたいと思います。</p> <p>それでは、以上をもちまして、令和元年度第2回いはらっ子の子育ち支援会議を終了いたします。</p>